



전라남도  
JeollaNamdo

創意と情熱、地域の未来を先導する

# 全羅南道グローバル人材の育成





# 目次

I. 基本現況

II. 政策方向

III. 全羅南道グローバル人材育成施策

IV. 共同交流事業提案

自由テーマ

- 2014莞島国際海藻類博覧会

# I. 基本現況

## 1. 学校及び学生数

- 幼稚園：546園 18,895名
- 小・中・高：826校 238,884名
- 特別支援学校：8校 961名
- 専門学校と大学：19校 55,224名

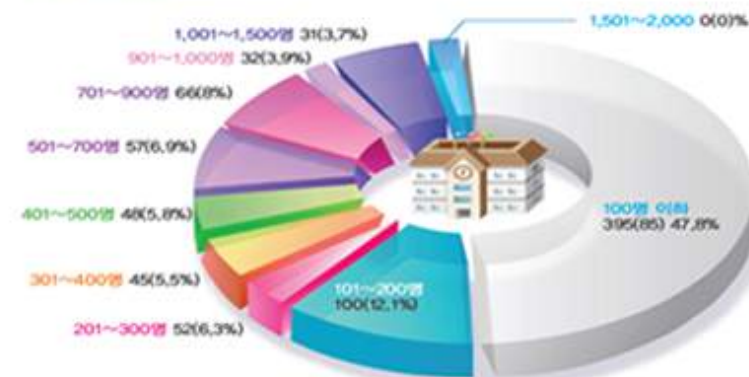
※ 学生数減少による農漁村学校危機、学生教育条件の悪化  
\* 面地域学校数 ('03)510校>('13)449校 12%減少

## 3. その他教育施設

- 教育研修院：1ヶ所（教員研修）
- 学生科学・芸術・自然学習施設：4ヶ所
- 平生教育施設：74ヶ所
- 奨学財団等公益法人：153ヶ所
- 図書館：249ヶ所（蔵書数 6,098,224巻）

## 2. 学生数別学校数現況

- 学校数 826：小 427, 中 246, 高 153



## 4. 教育財政(大学を除く)

- 歳入：3兆1,828億ウォン
  - 依存財源：31,373億ウォン(98.6%)
  - 自主財源：455億ウォン(1.4%)
- 歳出：3兆1,828億ウォン
  - 教育一般：16,736億ウォン(52.6%)
  - 小中学校教育：15,092億ウォン(47.4%)



## Ⅱ. 政策方向

전남의 미래를 선도하는

글로벌  
クリエイティブ人材  
養成

競争力の  
ある未来人材育成

- ・地域対応型特性化教育
- ・勉強しやすい先進教育環境の造成

グローバル時代における先導力の強化

- ・グローバル人材養成のための語学力養成
- ・クリエイティブな国際的リーダーシップ養成によるグローバルマインドの育成



# Ⅲ. 全南グローバル人材育成施策

## 1. 競争力のある未来人材育成

### ■ 目的対応型特性化教育

- 地域人材育成のためのマイスター高校運営 (港湾物流等 4校)
- 特性化高等学校の指定・運営 (農業等26校)
- 目的対応型自主的「虹の学校」の運営 (129校)
- 小規模学校の存続推進 (209校)



### ■ 勉強しやすい教育環境造成

- 全南人材育成財団設立、513億ウォン奨学金基金造成 (これまで19,828名、161億ウォン奨学金支給)
- 全国初の大学生の学資金利子支援 (これまで19,448名、13億ウォン)
- 環境にやさしい (韓屋型) 寮の建設 (23校 869億ウォン)
- 全国初の道を代表する図書館建設、1邑面 (行政区域) 1図書館の造成 (11ヶ所 780億ウォン)





## 2. 国際化時代における先導力の強化

### ■ 語学力の養成

- 2007年全国初の道主管英語キャンプの運営 (小中学生11千名修了、道費78億ウォン)
- ミズーリ大等アメリカ4大学と教育協力支援協約 (ネイティブ英語補助教師毎年90名参加)
- ネイティブ補助教師の配置拡大 (英語、日本語、中国語 '03年57名⇒'13年509名)
- 1 邑面洞 (行政区域) 1英語体験教室の設置 (250校)



### ■ グローバルマインド育成

- 教師の英語能力を深める研修 (カナダ等、毎年50名)
- 学生の語学研修推進 (アメリカ、毎年60名)
- 特性化高校におけるグローバル現地体験学習 (カナダ、毎年15名)
- 日(福岡県、佐賀県) 韓青少年交流 (毎年128名)





# IV. 共同交流事業提案

## 1. 大学別特化分野学生交流およびシンポジウムの共同開催（非予算）

### 事業概要

- 対象：大学間交流分野の教授および学生
- 参加機関：県市道大学
- 内容
  - 日韓県市道大学間での特化分野に関する学生交流
  - 特化分野別先導大学間でのシンポジウムの共同開催等
- 方法：交流希望大学調査、大学間パートナーマッチング後、大学間の自主交流



### 県市道別対応事項

- 各県市道：交流希望大学調査と大学間パートナー連結
- 各大学：シンポジウム開催と交流事業



### 全南道内大学別特化分野

- 木浦大学：海上風力、新海洋産業
- 順天大学：新素材、IT融合
- 東新大学：漢方、生命バイオ
- 道立大学：韓屋、韓服、韓国料理等



## 2. 日韓両国ワーキングホリデー情報ネットワーク共同構築（非予算）

### 構築概要

- 対 象：8県市道所在大学の学生
- 参加機関：県市道+所在大学
- 内 容：ワーキングホリデーをする学生の初期の定着に必要な情報ネットワークの共同構築
- 方 法：県市道交流知事会議  
ホームページにおけるデータベース構築、提供（形式、語学研修、就業情報等）



### 県市道別対応事項

- 各県市道：ホームステイ等初期の定着情報案内
  - 各 大 学：学内語学院および就業情報の資料提供
- ※ 毎年会議開催県市道において資料集中管理



※2013年日韓  
ワーキングホリデー参加者：年間6,522名





自由テーマ

- 2014莞島国際海藻類博覧会





# 2014莞島国際海藻類博覧会



## 1. 博覧会概要

- 推進背景
  - 世界における食糧資源の不足に備えた食糧資源としての海藻類価値の明確化
  - 海藻類産業の高付加価値化により世界における海藻類産業の発展を図る
- テーマ：海中にある人類の未来、海藻類に出会う
- 期 間：2014.4.11～5.11 (1ヶ月)
- 開催地：全羅南道莞島郡
- 規 模：280,563m<sup>2</sup> (展示館 4、海藻類企業館, 体験場等)
- 主催/後援：全羅南道、莞島郡 / 海洋水産部



## 2. 主要行事

- 展示館運営：テーマ館、生態環境館, 健康食品館, 産業資源館
- 体験行事：海藻類体験場、海体験場
- 展示販売：海藻類企業館運営、輸出相談会
- 国際会議：生態水産都市市場会議、2014国際海藻類学術会議等







グローバル人材!  
全/羅/南/道の未来です。  
ありがとうございます。